



2019年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年1月9日

上場会社名 日本BS放送株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9414 URL <https://www.bs11.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 兼 CEO (氏名) 齋藤 知久
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 平山 直樹 (TEL) 03 (3518) 1900
 経営戦略局担当
 四半期報告書提出予定日 2019年1月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年8月期第1四半期の連結業績(2018年9月1日~2018年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年8月期第1四半期	3,023	—	437	—	439	—	303	—
2018年8月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2019年8月期第1四半期 303百万円(—%) 2018年8月期第1四半期 一百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年8月期第1四半期	17.04	17.03
2018年8月期第1四半期	—	—

(注) 当社は、前第1四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表を作成していないため、2019年8月期第1四半期の対前年同四半期増減率並びに2018年8月期第1四半期の数値及び前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年8月期第1四半期	18,950	16,810	88.7
2018年8月期	19,208	16,839	87.6

(参考) 自己資本 2019年8月期第1四半期 16,801百万円 2018年8月期 16,834百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年8月期	—	0.00	—	19.00	19.00
2019年8月期	—	—	—	—	—
2019年8月期(予想)	—	0.00	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年8月期の連結業績予想(2018年9月1日~2019年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,600	—	800	—	800	—	550	—	30.89
通期	14,000	12.1	2,005	△17.4	2,005	△17.3	1,400	△15.6	78.64

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 当社は、2018年8月期第2四半期連結会計期間末より四半期連結財務諸表を作成しているため、2019年8月期第2四半期(累計)の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

3. 第2四半期(累計)及び通期の業績予想の1株当たり当期純利益は、2019年8月期第1四半期のストック・オプション行使分(1,200株)と所有している自己株式数を勘案した期中平均株式数を基に修正しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 ー 社(社名) ー 、除外 ー 社(社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2019年8月期1Q	17,804,032株	2018年8月期	17,802,832株
2019年8月期1Q	137株	2018年8月期	134株
2019年8月期1Q	17,802,842株	2018年8月期1Q	17,802,698株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

(注) 1. 当第1四半期連結会計期間において、ストック・オプションの権利行使により期末発行済株式数が1,200株増加しております。

2. 期末自己株式数の増加は、単元未満株式の買取によるものであります。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(日付の表示方法の変更)

2019年8月期第1四半期連結会計期間より、日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は、前第1四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表を作成していないため、前年同四半期連結累計期間との比較分析は行っていません。

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益および雇用・所得環境の改善が続くなか、各種政策の効果もあり、景気は緩やかな回復基調となりました。しかしながら、通商問題や海外経済の不確実性、金融資本市場の変動の影響等により、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社を取り巻くBSデジタル放送業界は、デジタル放送受信機の普及に伴い、視聴可能世帯数の割合は全世帯の75.1%（「BS世帯普及率調査」(株)ビデオリサーチ調べ）で推移しており、またBSデジタル放送事業を含む衛星放送メディア分野の広告費は前年比で1.3%の伸長、中でもBS放送の広告費は、前年比で2.9%増と堅調に推移しております（「2017年日本の広告費」(株)電通調べ）。

このような状況下、当社は「質の高い情報を提供することで人々に感動を与え、幸せな社会づくりに貢献します」を経営理念として、「豊かで癒される教養・娯楽番組と中立公正な報道・情報番組を発信し『価値ある時間』を約束します」との経営ビジョンに基づき、良質な番組制作に引き続き邁進いたしました。

2018年10月の番組改編では、良質な番組制作による視聴世帯数の更なる増加を目的として、歴史の定説や通説に現代科学のメスを入れ歴史の新事実を掘り起こす『歴史科学捜査班』、フランス人の美術史家ソフィー・リチャードさんのベストセラー書籍から日本の美術や価値を発見していく美術探索ドキュメンタリー『フランス人がときめいた日本の美術館』、居酒屋探訪家の太田和彦さんが、うまい酒とうまい肴を求めて全国津々浦々に旅する酒場紀行『太田和彦のふらり旅 新・居酒屋百選』の放送を開始いたしました。

また、日本人になじみの薄い国境で生きる人々の様々な人生を描き出す国境エンターテインメント『世界の国境を歩いてみたら・・・』、タレントの島崎和歌子さんが司会を務め、豪華なゲスト歌手が視聴者のリクエストで昭和の名曲を歌い上げる『あなたが出会った 昭和の名曲』、タレントの森口博子さんが司会を務め、幅広い世代のゲストと珠玉のアニメソングをオリジナルアレンジでお届けする『Anison Days』等の人気番組は、内容を更に充実しております。

さらに、スポーツコンテンツのより一層の充実を図るため、『平成30年度 全日本学生柔道体重別選手権大会』、『BS11ソフトボール中継 日本女子ソフトボールリーグ』を放送、ローカル局とのコラボレーションでは『京都紅葉生中継2018 明治浪漫あふれる秋の夕べ』をKBS京都と共同製作し放送いたしました。

アニメファンから根強い人気を誇る『ANIME+』において、制作委員会へ出資した『転生したらスライムだった件』、『CONCEPTION』、『火ノ丸相撲』、『青春ブタ野郎はバニーガール先輩の夢を見ない』、『SSSS.GRIDMAN』、『アニマエール!』等を放送したほか、約40タイトル以上のアニメ番組を放送いたしました。

このほか、新たな施策として、当社人気アニソン番組『Anison Days』が文化放送とコラボレーションしたラジオ番組『Anison Days+ (プラス)』を文化放送で開始、アニメフィルムフェスティバル東京2018と連携したアニソンライブイベント「Anison Days Festival」を実施したほか、eスポーツ文化発展の支援を目的とした『BS11cup 全日本eスポーツ学生選手権大会』を当社主催で実施いたしました。

2018年11月11日には「開局11周年イレブンの日」と銘打って、今後ますます多様化し進化を遂げるスポーツのあり方を討論する『スポーツの未来～Sports Evolution～』、eスポーツ大会における選手たちの熱い戦いの様子をお届けする『BS11cup 全日本eスポーツ学生選手権大会2018』を放送、特別番組にも積極的に取り組みました。

費用面につきましては、引き続き番組関連費用等の効率的なコントロールに努めながら、番組宣伝のための施策として、全国紙・WEBへの広告出稿を戦略的に実施したほか、首都圏主要駅への看板掲出など、様々な媒体を活用した広告宣伝施策を実施いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は 3,023,040千円となりました。営業利益は 437,135千円、経常利益は 439,106千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は 303,293千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ 257,973千円減少し、18,950,682千円（前連結会計年度末比 1.3%減少）となりました。主な要因は、現金及び預金が 254,715千円減少したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ 228,483千円減少し、2,140,236千円（前連結会計年度末比 9.6%減少）となりました。主な要因は、未払法人税等が 285,711千円減少したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ 29,490千円減少し、16,810,445千円（前連結会計年度末比 0.2%減少）となりました。主な要因は、利益剰余金が前連結会計年度の期末配当 338,251千円の支払により減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益 303,293千円の計上によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年8月期の業績予想につきましては、2018年10月5日付の「平成30年8月期 決算短信」で公表しました業績予想から変更ありません。

なお、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,604,440	9,349,724
受取手形及び売掛金	2,190,656	2,155,393
たな卸資産	269,609	328,382
その他	51,141	46,875
貸倒引当金	△1,530	△1,430
流動資産合計	12,114,317	11,878,946
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,407,197	2,385,331
土地	4,034,756	4,034,756
その他(純額)	264,579	258,596
有形固定資産合計	6,706,533	6,678,685
無形固定資産	17,812	18,269
投資その他の資産	369,992	374,780
固定資産合計	7,094,338	7,071,735
資産合計	19,208,656	18,950,682
負債の部		
流動負債		
買掛金	501,975	597,199
短期借入金	480,000	530,000
1年内返済予定の長期借入金	11,100	11,100
未払法人税等	443,639	157,927
返品調整引当金	37,890	16,388
その他	791,084	730,572
流動負債合計	2,265,688	2,043,189
固定負債		
長期借入金	13,000	10,225
退職給付に係る負債	66,150	68,209
その他	23,881	18,613
固定負債合計	103,031	97,047
負債合計	2,368,720	2,140,236

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,183,198	4,183,936
資本剰余金	3,516,989	3,517,726
利益剰余金	9,134,730	9,099,772
自己株式	△139	△143
株主資本合計	16,834,778	16,801,292
新株予約権	5,157	9,153
純資産合計	16,839,936	16,810,445
負債純資産合計	19,208,656	18,950,682

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自2018年9月1日 至2018年11月30日)
売上高	3,023,040
売上原価	1,614,491
売上総利益	1,408,549
販売費及び一般管理費	971,414
営業利益	437,135
営業外収益	
受取利息	0
その他	3,539
営業外収益合計	3,540
営業外費用	
支払利息	1,503
その他	65
営業外費用合計	1,568
経常利益	439,106
税金等調整前四半期純利益	439,106
法人税、住民税及び事業税	139,364
法人税等調整額	△3,552
法人税等合計	135,812
四半期純利益	303,293
非支配株主に帰属する四半期純利益	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	303,293

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自2018年9月1日 至2018年11月30日)
四半期純利益	303,293
四半期包括利益	303,293
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	303,293
非支配株主に係る四半期包括利益	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。